

02

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

第2回地域夢・未来カフェ in 川西

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、第1回に引き続き、「第2回地域夢・未来カフェ in 川西」が開催されました。

日時：2012年11月15日（木）19:00～21:00

場所：川西小 やなぎホール

参加人数：市民20名＋市WGメンバー3名

当日のスケジュール

- 19:00 開会
- 19:05 スケジュール説明・ふりかえり・テーマ発表
- 19:20 チーム分け
- 19:25 イントロ（川西クイズ）
- 19:30 テーブルワークの説明・事例紹介
- 19:35 テーブルワーク（活動案の検討）
- 21:00 閉会

スケジュール説明～チーム分け

当日スケジュールの説明があった後、第1回カフェで共有した重要な地域課題と取組を分析した傾向から導き出された3つのテーマ案の発表がありました。内容は、地域コミュニティに関するものが2テーマ、安心・安全に関するものが1テーマでした。これらをもとに、具体的な活動案を検討していくことが了承されました。

その後、参加者は話し合っていたテーマのテーブルにそれぞれ移動しました。

テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、川西小地域の状況に関するクイズが3問出題されました。



第1回カフェの共有結果から分析した傾向

- 地域コミュニティに関する内容は、課題と取組ともに重要度が高い
- 交通安全や防災など、安心・安全に関する内容は、取組の重要度が高い

決定したテーマ

- Aグループ：地域のふれあいを感じられるまちにする
- Bグループ：地域活動を活性化させる
- Cグループ：安心・安全なまちをつくる

Aグループの概要

◎地域のふれあいを感じられるまちにする

- ⇒ あいさつ運動
- ⇒ 声かけ運動
- ⇒ その他
 - ・地域イベント(祭りなど)の開催
 - ・地域の居場所づくり(コミュニティカフェ) など

Bグループの概要

◎地域活動を活性化させる

- ⇒ 人材、人財の自治会研修、啓発
- ⇒ その他
 - ・地域の担い手養成講座の開催
 - ・地域ポータルサイトの開設
 - ・自治会とボランティアの連携事業 など

Cグループの概要

◎安心・安全なまちをつくる

- ⇒ 交通マナーの徹底啓発
- ⇒ その他
 - ・防災や避難情報を普及させる取組
 - ・地域防災マップの作成
 - ・犯罪に強いまちづくり など

テーブルワーク

各グループで活動メニューから検討をはじめ、メニューがある程度決まったグループは、活動をより具体的に話す話し合いを進めました。ファシリテーターから、テーマに即した事例紹介も適宜行われました。どのグループも、閉会時間ギリギリまで活発な議論が行われました。



◎各グループの主な意見

Aグループ：地域のふれあいが感じられるまちにする

●あいさつ運動について

- ・あいさつが飛び交うまちにする
- ・あいさつはすべての基本である
- ・あいさつは防犯面でも役に立つ
- ・同じマンション内や子ども連れでならあいさつする
- ・河川敷などでペットを連れてなら自然とあいさつする
- ・あいさつをしても返事がないと嫌になる
- ・川西小は徒歩か自転車が多いので有効である
- ・駅前は難しい
- ・家庭内やご近所からはじめる
- ・コミュニティや自治会等で呼びかける
- ・イベント等を通じて広く宣伝する

●地域が交流できるイベントについて

- ・既存のイベントを活用したい
- ・たこあげ教室の豚汁（防災教室とからめて）
- ・山形の芋煮会のようなもの

Bグループ：地域活動を活性化させる

●子どもが活躍するまちづくり

- ・子ども会を自治会がバックアップしている地域もある（ゴミ収集など）
- ・体育祭は子どもが来れば親も来る
- ・行事をする上で子どもが活躍できるステージ（役割）をつくる
- ・小学校や中学校との連携
- ・部活の再検討
- ・子どもが企画・運営する仕組みをつくる
- ・別の動機をつくる（BBQ大会などでいつもと違う顔ぶれを集める）

●その他について

- ・新住民を巻き込むのは難しい
- ・総会の時に名札を作って顔見知りになる
- ・集会以外でも集まれる拠点が必要
- ・自治会報を出していない地域もある
- ・自治会員しか情報が回らない

Cグループ：安心・安全なまちをつくる

●防災意識の向上と備えのためのアイテム作成

- ・防災訓練+たこづくり（小学生や父母が参加）のように+αの取組が大事
- ・防災訓練へ高齢者の参加は少ない
- ・ポイント①情報発信はわかりやすさやビジュアル、楽しさ
- ・ポイント②自分事としてできるレベルの情報的大事
- ・ポイント③子どもが関わる仕組みがあれば親もついてくるので、子どもが作る仕掛けにする（学習プログラム）
- ・小学校は協力的なので課外授業に取り入れる
- ・防災マップや避難マップは、全市版はあるが学区版はない
- ・回覧板や掲示板、福祉ニュースなど、活字アレルギーのある人がいる

